

2020年12月17日

各 位

会 社 名 株式会社 デジタルホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 野内 敦
(コード番号 2389 東証第一部)
電 話 0 3 - 5 7 4 5 - 3 6 1 1

通期連結業績予想および配当予想に関するお知らせ

2020年2月12日に公表しました「2019年12月期決算短信[日本基準] (連結)」において未定としておりました2020年12月期の通期連結業績予想および配当予想について、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想について

(1) 2020年12月期の通期連結業績予想 (2020年1月1日~2020年12月31日) (百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	—	—	—	—	—
今回予想 (B)	87,331	2,026	3,142	3,107	139円06銭
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (B/A)	—	—	—	—	—
(ご参考) 2019年12月期	89,953	2,633	2,833	1,928	84円23銭

(2) 公表の理由

当社の事業は、マーケティング事業とシナジー投資事業の2つから構成されております。マーケティング事業はインターネット広告事業を軸にデジタルマーケティング事業およびその関連サービス等の提供をしております。シナジー投資事業は、金融投資や新規事業開発等で構成されており、IPO マーケットの動向、上場株式の株価変動や売却タイミング等により業績の変動が大きく、連結業績予想を精度高く開示することは難しい状況でありました。そのため、期初における当社の業績予想にかかる損益開示は、マーケティング事業および株式会社デジタルホールディングス管理コストのみとしておりましたが、第3四半期連結累計期間にシナジー投資事業において、上場株式の一部売却や投資先企業のIPOによる株式売却等の売却益が確定したこと、また第4四半期におけるシ

ナジー投資事業の動向がある程度予測を立てることが出来る段階となりましたため、現時点で入手可能な情報等に基づき算定した2020年12月期の通期連結業績予想を公表いたします。なお、マーケティング事業通期業績予想につきましては、2020年11月11日に公表しました「業績予想の上方修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 配当予想について

(1) 2020年12月期の配当予想

	年間配当金 (円 銭)				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想	—	—	—	未定	未定
今回予想	—	—	—	29円00銭	29円00銭
当期実績	—	00円00銭	—	—	—
前期実績	—	00円00銭	—	17円00銭	17円00銭

(2) 公表の理由

当社は、中長期での企業価値の更なる向上を図るため、経営体制の強化や収益の向上に必要な事業投資および人材投資等を確保することを目的として、のれん償却前連結当期純利益に対する配当性向20%を目標としております。配当は期末配当の年1回を基本方針とし、配当額の決定機関は取締役会としております。

2020年12月期の配当予想については、通期連結業績予想におけるのれん償却前連結当期純利益予想から勘案し、1株当たり配当予想金額を29円00銭（前期比+12円00銭、配当性向20.85%）といたします。前期比の増額理由としては、マーケティング事業においては新型コロナウイルス感染症の影響を受け広告需要が一時的に減少したものの販売管理費抑制に取り組んだこと、またシナジー投資事業において保有資産の有効活用により株式売却益を計上したこと等により、通期連結業績は前期比増益の着地予想となる見通しであります。

2020年7月に株式会社オプトホールディングから株式会社デジタルホールディングスに商号を変更し、本格的にデジタルシフト事業をスタートさせました。デジタルシフト支援を通して日本の産業の活力、そして社会の豊かさに貢献できるグループを目指し、より一層事業を加速させるべく事業への投資等も積極的に実施していき、企業価値向上に努めて参ります。

以上

(注) 本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき作成しており、実際の決算数値と異なる可能性があります。